

安全データシート
ストール1号

作成日2016年 5月 19日
改定日2013年 8月 1日
2016年 5月 9日
2024年 6月 20日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:	ストール1号
会社名:	日本滌化学株式会社
住所:	東京都港区虎ノ門3丁目2番地2号 30森ビル
電話番号:	03-3459-0051
緊急時の電話番号:	03-3459-0051
FAX番号:	03-3459-0081
メールアドレス:	販売者：三笠産業株式会社 〒340-0043埼玉県草加市草加5-6-10 tel (048)941-8215 fax (048)943-4897
推奨用途及び使用上の制限:	尿石除去剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類	分類実施日	H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用	
物理化学的危険性		火薬類 分類対象外 引火性・可燃性ガス 分類対象外 引火性エアゾール 分類対象外 酸化性ガス類 分類対象外 高圧ガス 分類対象外 引火性液体 区分外 可燃性固体 分類対象外 自己反応性化学品 分類対象外 自然発火性液体 区分外 自然発火性固体 分類対象外 自己発熱性化学品 分類できない 水反応可燃性物質 分類対象外 酸化性液体 分類対象外 酸化性固体 分類対象外 有機過酸化物 分類対象外 金属腐食性物質 分類できない 健康に対する有害性	
		急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:ガス) 分類対象外 急性毒性(吸入:蒸気) 分類できない 急性毒性(吸入:粉じん) 区分4 急性毒性(吸入:ミスト) 区分4 皮膚腐食・刺激性 区分1A-1C 眼に対する重篤な損傷性・刺激 区分1 呼吸器感作性 区分1 皮膚感作性 区分外 生殖細胞変異原性 分類できない 発がん性 分類できない 生殖毒性 分類できない 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(歯、呼吸器系) 吸引性呼吸器有害性 分類できない	
環境に対する有害性	分類実施日	急性毒性:H22.2.19、政府向けGHS分類ガイダンス(H21.3版)を使用 慢性毒性:H18.3.31、GHS分類マニュアル(H18.2.10)を使用 水生環境有害性(急性) 区分2 水生環境有害性(慢性) 区分外	

ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
吸入すると有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
呼吸器系の障害
長期にわたる、または、反復ばく露により歯、呼吸器系の障害
水生生物に強い毒性

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。

環境への放出を避けること。

【応急措置】

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚または髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。

皮膚に付着した場合、眼に入った場合、飲み込んだ場合、吸入した場合は、直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

吸入した場合、呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。

ばく露した場合、医師に連絡すること。

気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

日光から遮断し、換気の良い場所で保管すること。

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

酸性なのでアルカリ性の物質とおなじ場所で貯蔵または保管しないこと。可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国・地域情報

3. 組成及び成分情報	
化学物質 区別	混合物
化学名又は一般名	塩化水素を含む尿石除去剤
化学特性(示性式又は構造式)	HCl
CAS番号	7647-01-0
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	(1)-215
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし
濃度又は濃度範囲	20%
4. 応急措置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、取り除くこと。 皮膚を流水、シャワーで洗うこと。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状	吸入：腐食性。灼熱感、咳、息苦しさ、息切れ、咽頭痛。症状は遅れて現われることがある。 皮膚：液体に触れた場合、凍傷腐食性。重度の皮膚熱傷、痛み。 眼：腐食性。痛み、かすみ眼、重度の熱傷。
5. 火災時の措置	
消火方法	不燃性であるが、容器は燃える。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却
6. 漏出時の措置	
	漏出した場所の周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行い、風下の人を退避させる。 作業の際には必ず保護眼鏡、防毒マスク、保護手袋、保護衣等の保護具を着用し、風下で作業をしない。 少量の場合は、漏出した液は土砂に吸収させて密閉可能な容器に回収する。 大量に漏出した場合は、盛土等で困って流れを止め吸収させるか、安全な場所に導き遠くから徐々に注水しある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和する。これを多量の水を用い洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等へ流入しないよう注意する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	必ず換気設備のある場所で取り扱い、できるだけ風上で作業をする。 容器の開栓はできるだけ短時間とし、できるだけ蒸気の発生、液漏れ、あふれ等をさせないように取り扱う。 吸入したり、眼や皮膚に接触したりしないようゴーグル型保護眼鏡、防毒マスク、ゴム手袋及びその他の保護具を必ず着用する。
保管	酸性なので、塩素系の洗浄剤や漂白剤と混合・使用してはならない。 直射日光の当たらない換気の良い場所に保管する。 酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で貯蔵または保管しない。 可燃性物質、還元剤、強酸化財、金属から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置	塩酸のデータ 厚生労働省管理濃度 許容濃度 塩酸のデータ 産業衛生学会 ACGIH TLVs (CEIL) 設備対策 眼の保護具 手の保護具 呼吸器用の保護具 皮膚及び身体の保護具	設定されていない 7.5mg/m ³ (2009年度) 2ppm (2008年) 発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。 取り扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置することが望ましい。 ゴーグル型(防毒マスクの場合は顔面シールドの着用を推奨する) ゴムまたはネオプレンゴム製 酸性ガス用防毒マスク(漏洩時は空気呼吸器) ゴム衣、ゴム長靴、ゴム前掛け(ゴム衣がない場合)
9. 物理及び化学的性質	外観等 形状 色 臭い その他 融点 pH 溶解度 比重	液体 赤色透明 刺激臭 発煙性あり データなし 1.31(1%液 20℃) 任意の割合で溶解(水) 1.10(20℃)
10. 安定性及び反応性	安定性・反応性	強酸性物質なのでアルカリ性物質と激しく反応し、発熱する。 金属と反応し、可燃性の水素を発生する。水素は空気と混ざり合うと爆発するので注意する。
11. 有害性情報	総括的な有害性情報	医薬外用劇物である。腐食性 目に触れると強い刺激と痛みがあり、粘膜が激しく侵され失明することがある。皮膚に触れるとやけど(薬傷)を起こす。 発煙性があり、吸い込むと呼吸器粘膜を侵す。多量に吸入すると肺水腫を起こすことがある。 長期又は反復暴露の影響:長期にわたるまたは反復暴露により、歯、呼吸器を損傷する。 製品に関する情報はない。構成成分の塩酸についての情報は、次のとおりである。 塩化水素:IARCはグループ3、ACGIHはA4に分類されているが、ラット/マウスの発がん性試験では、発がん性を示す証拠は認められず、ヒトの疫学調査の多くは、がん発生と塩化水素暴露との関係に否定的である。
	刺激性 塩酸のデータ 皮膚刺激性	皮膚刺激性試験で、1-4時間暴露により濃度次第で腐食性が認められた。(ウサギ)[*01]
	眼刺激性	ウサギを含めた複数の動物試験の結果、眼に対する重度の刺激性または損傷性、腐食性を示した。(ウサギ)[*01]
	急性毒性 塩酸のデータ 急性経皮毒性 急性経口毒性 急性吸入毒性	LD50(ウサギ):> 5010mg/kg [*01] LD50(ラット):> 238-277mg/kg [*01] LC50(ラット):> 0.42mg/L(4hr) [*01]
12. 環境影響情報	環境影響情報	本製品に関するデータはないが、塩酸に関するデータを次に示す。 完全に水に溶け、酸性のため、水生生物に毒性がある。植物の成長に有害である。
	環境毒性 塩酸のデータ 急性魚毒性	LC50(オオミジンコ): 0.492mg/L(48h) [*02]

13. 廃棄上の注意

攪拌しながら石灰乳、苛性ソーダ等の薄い水溶液で中和した後、多量の水で希釈して流す。
内容物を明確にした上で、産業廃棄物処理業者等に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えたり、手カギやフォークリフトの爪で突き刺したりしないよう行う。
輸送中に容器が転倒・転落しないように積載するとともに、休憩時等の盗難・紛失に注意する。
1回で5t以上の量を車両で運搬する場合は、交替運転者、標識、保護具、緊急時の措置を記載した書面等、毒物及び劇物取締法に定められた事項を遵守する。

国連分類(クラス)
国連分類(容器等級)
国連分類(国連番号)

8(腐食性物質)
II
3264(その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの))

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物

労働安全衛生法

通知対象物

塩酸(政令番号98 塩化水素)

表示物質

非該当

特化則

第三類物質

化学物質管理促進法

非該当

道路法

長大・海底トンネル等輸送

制限物質

輸出貿易管理令

別表第2物質

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

災害事例

情報なし

中毒した時の緊急連絡先

(財)日本中毒情報センター

中毒情報センター中毒110番(大阪)
072-727-2499(終日)

中毒情報センター中毒110番(つくば)
029-852-9999(9~21時)